

令和4年度 第3回 名西高等学校学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和5年2月16日(木) 午後2時から午後3時30分まで

2 場 所 名西高等学校 会議室

3 会 議

(1) 協議

① 本年度の振り返りについて

向井校長がパワーポイントを使って、本年度の重点目標についての振り返りの説明を行った。

- ・普通科の魅力化について
- ・芸術科の情報発信
- ・地域連携
- ・定時制における社会的自立

② 名西高等学校学校評価総括評価表について

高曽根教頭が、令和4年度全日制の学校評価総括評価表について説明をした。

- ・生徒指導の充実
- ・人権教育の充実
- ・キャリア教育の充実
- ・学習指導の徹底
- ・文化芸術活動の推進
- ・地域社会との連携

竹田教頭が、令和4年度定時制の学校評価総括評価表について説明をした。

- ・基本的生活習慣の確立，社会で自立する能力や態度の育成
- ・自他を大切に作る心や態度の育成，主権者意識や防災意識の高揚

③ 各委員からの質問・提言について

- ・A委員

志願者数が定員を満たしているのはすばらしい。地域連携についても芸

術科がベースとなり、地元から愛される学校になってきていると感じる。

不登校生の増加による定時制の役割が大きくなっている。かつて、地元の中学校に定時制を紹介し、卒業式への参列をお願いした。学校行事についての満足度が100%というのは素晴らしい。100周年に向けて頑張りたいと思う。

・ B 委員

報道されていることだけでなくいろいろなことで成果が多い。芸術科が強みで普通科の魅力化としてルーブリックの改善等を行った。底上げや習慣づけをしているところであると思う。例えば得意教科をのばすことや、英検や漢検などの資格をとることなどは小さな成功体験につながると思う。出願者数も注目されているので増加に向けた取組は大切であると思う。

定時制については地元企業への就業体験なども一つの取り組みであろうと考える。親の送迎について話していたが、どうなのか。

・ 竹田教頭

保護者の確実に学校へ登校してほしいという願いが強いため、親の送迎により登校する生徒が多い。

・ 高曾根教頭

英検や漢検については案内をして受検の奨励をしている。就職生についても検定受検や面接練習など個別にきめ細やかな指導を行っている。

・ C 委員

来年度の5月からコロナ対応が緩くなるという話がある。今まではなかなかできなかった中学生との交流をぜひお願いしたい。例えば芸術科それぞれが学期ごとに分散して中学生と接するなど、実現すればいいと思う。サイバーセキュリティー教室も歓迎である。

・ D 委員

芸術科の地域連携について。絵本や「石井町二十歳の集い」の看板製作、名高パトロール隊による見守りなどしていただき、非常にうれしく思う。石井町での活躍の場を増やしたい。12月には石井町総ぐるみ人権啓発研修大会があるが、そこで合唱の披露などができればと考える。交通事故にも触れていたが、学校前の街灯が暗いので気をつけて通行するようにしなければいけない。